

今さら誰にも  
聞けない!?

オ ス キ ー

# OSCEの

## OSCE って何?

CBTが基礎・臨床知識の理解度を問う学力試験であるのに対して、**OSCE** (Objective Structured Clinical Examination: **客観的臨床能力試験**) は医学生の臨床能力(診察態度・技能)を評価するための**実技試験**です。OSCEはCBTと併せて、診療参加型実習(クリニカル・クラークシップ)を行うための“**仮免許**”の試験に位置づけられています。実際に医療の現場に臨む前に、きちんとした言葉遣いや態度で問診が出来るか、基本的な手技が身についているのか、を測るための試験というわけです。

## 実施の 時期は?

多くの大学では4年次の8~3月に行われ、診療参加型実習が始まる5年生への**進級判定のための判断材料**として用いられます。また共用試験で行われるものとは別に、臨床実習終了後などにその成果を評価する、**Advanced OSCE**を導入する大学も増えています。

## 試験の 概要は?

会場には**ステーション**とよばれる部屋が用意され、受験者は各部屋を巡回して実技を行います。各ステーションでは**大学内部の教員**と**他大学の教員**が、一定の基準に則り、学生が実施する診察手技・態度などを採点します。ステーションの数や評価者の人数などは大学によってまちまちですが、最低限必要なステーション構成は下記のように決まっていますので、特に対策しておく必要があります。医療面接や実技は**SP** (Standardized Patient) とよばれる**標準模擬患者**に対して行われますが、直腸診など実際に行うことが困難なものに対しては**シミュレーター**が用いられます。

必要最小限の  
共通標準  
ステーション

必須のもの

- 医療面接
- 腹部診察
- 頭頸部診察
- 神経診察

大学の判断で  
片方または両方を選択

- 胸部診察 or バイタルサインの測定
- 外科技術 or 救急

より詳細な情報は右記サイトを参照 → <http://www.cato.umin.jp/>

# キホン

実はOSCEって何?…なんて人いませんか?  
備えあれば何とやらということで、ひと通り  
基本知識を確認しておきましょう。

## ステーション構成の一例



実際の  
流れは?

各ステーションの**ドアを開けた瞬間から試験がスタート**します(医療面接ではSPが入室した瞬間から)。室内には評価者となる2名以上の教員に加え、SPがいるか必要器具があり、そして**課題を書いたプリント**があります。このプリントの指示に従い、**制限時間**(試験により5~20分)内に診察を行うことになります。

不合格  
になったら  
…?

再試験となることはあるものの、進級できない事態に陥ることはあまり無いようです。ですが、OSCEレベルの実技は臨床実習だけではなく、**マッチングを踏まえた病院見学でも必要**となる能力です。実習や見学の際に**現場で恥をかかない**ためにも、高い意識をもって臨みましょう。

**医師としての将来を見据えて、しっかりとした対策を…!**